

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岩手県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②								成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成18年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	4年後 (平成23年)	5年後 (平成24年)	6年後 (平成25年)	7年後 (平成26年)	8年後 (平成27年)	目標値 (平成27年)				達成率	計画時	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	目標値				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				
二戸市	北いわて二戸りんご生産組合	果樹	りんごの高品質品種の栽培面積を増加	896a	-	-	-	-	-	-	-	1,204a	1,110a	143.9%												6,528,189	3,131,000	0	626,000	2,771,189	平成20年3月6日	平成19年度に事業を活用して1.05ha改植し、以降も継続的に高品質品種への改植を進め、目標を達成した。	事業実施後も継続的な改植を進めることで、大幅に高品質品種の栽培面積を増加させて、目標達成している。		

都道府県事業実施状況報告及び評価報告書

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岩手県 平成27年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力...)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)	達成率				計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他						
北上市	花巻農業協同組合	土地利用型作物(稲)	タンパク値を0.2ポイント低下、食味値の向上。かつ、品質分析の結果の施肥等生産技術への反映	(前5中3)タンパク値 7.0% 食味値 82.4	-	7.5%	7.3% (0.3ポイント低下)	6.8% (0.2ポイント向上)	-150.0%	土地利用型作物(稲)	主食用米の出荷数量のうち、1等以外の下位等級指数を5割削減	(前7中5)下位等級指数 7.4 (1等以外の数量1,470t/全出荷量19,873t)	-	5.3	4.0 (45.9%削減)	3.7 (50%削減)	91.8%	平成27年度は生育期間を通じて概ね天候に恵まれ、またカメムシ米対策の指導徹底により、適期防除や畦畔の除草等の技術が普及したため、下位等級指数が減少し、成果目標を概ね達成した。	精米施設(鉄骨造660㎡) 精米機能力2t/h	236,743,500	97,211,000	0	0	139,532,500	H26.3.20	・当施設の整備により、地元の小売店、レストラン等への米の供給体制が確立し、地産地消の取組や、食育の一環としての学校給食への供給の取組が拡大されてきている。 ・食味値の向上、タンパク値の低下については、地域内一斉防除等の適期防除に取り組んだが、一部でいもち病が発生したことにより目標値の達成に至らなかった。 このことから、目標達成に向けて、地域内一斉防除等の適期防除を徹底していくとともに、ケイ酸を主体とした土壌改良資材の適正施肥の普及拡大を図っていく。 下位等級指数の5割以上の削減については、カメムシの適期防除と畦畔の適期除草の励行により下位等級指数が低下したものの、一部の生産者において適期に実施できなかった。	・花北地域では、当施設の整備により、地元の小売店、レストラン等への米の供給体制が確立し、地産地消の取組や、食育の一環としての学校給食への供給が拡大されてきている。 ・適期防除や土壌改良資材の投入などの取組への普及状況が、目標値の達成に十分であったため、タンパク値、食味値の目標を達成できなかった。 このため、目標達成に向けて、栽培管理の徹底が達成できるよう普及センター等の専門機関と連携し、一体となって生産者への技術普及拡大支援を行っていく。 ・なお、全出荷量が計画数量に至っていない。				
奥州市	みつくら農事組合法人	土地利用型作物(稲)	タンパク値を0.4ポイント低下、食味値の向上。かつ、品質分析の結果の施肥等生産技術への反映	タンパク質 6.4 食味値 79	6.8	6.0	5.5 (0.9ポイント低下)	6.0 (0.4ポイント低下)	225.0%	土地利用型作物(豆類)	単収を11.9%増加	(5中3)160.9kg/10a (66,476kg/4,130a)	192kg/10a (76,890kg/4,010a)	214kg/10a (86,460kg/4,040a)	206kg/10a (80,430kg/3,905a) (28.0%増)	180kg/10a (11.9%増)	236.1%	耕耘同時敏立播種技術の継続による排水対策、塩化カリ・鶏糞の土づくり肥料の投与、適期播種、適期の薬剤散布による雑草防除の徹底、適期刈取の実施により収量目標達成した。	乾燥調整施設の新設一式 (建物鉄骨造110坪、排塵設備) (機械器具及び機材一式 (遠赤乾燥機5t×4基))	75,180,000	30,603,000			44,577,000	H25.12.3	ライスセンターの設置により水稲・大豆の適期刈取りが可能となり、適期に刈取り、調製を行うことが可能となった。 作業員の地域雇用が増加し、地元組合員の収入増加に貢献できた。 水稲については特別栽培米の基準に基づき栽培し、タンパク値、食					

奥州市	岩手ふるさと農業協同組合	土地利用型作物(稲)	タンパク質値を0.2ポイント低下、食味値の向上。かつ、品質分析の結果の施肥等生産技術への反映	タンパク質 6.6% 食味値 79.6	7.1% 75.2	7.0% 74.5	5.9% (0.7ポイント低下) 76.7	6.4% (0.2ポイント低下) 79.7	350.0%	土づくりの実践のため土壌改良剤の施用等実施した結果、タンパク質の低下は目標達成となったものの食味値は目標達成出来なかった。	土地利用型作物(稲)	下位等級比率5削減	(前7中5) 下位等級比率 2.26% (1等以外の数量75.7t/全出荷量3349.32t)	2.35% (73.44t/3118.56t)	1.14% (33.18t/2901.93t)	0.8% (64.6%削減) (29.4t/3674.8t)	1.13% (50%削減) (37.85t/3349.32t)	129.2%	薬剤の一斉防除、草刈り等の効果が表れ、目標値を達成できた。	乾燥調整施設工事(機能高度化)一式 (荷受ベルコンベア、遠赤乾燥機4.5t×10基、荷受操作盤)	54,600,000	26,000,000			28,600,000	H25.12.3	施設の機能高度化により荷受け能力が向上したことから、受益面積の拡大につながっている。また、堆積貯留時間の短縮により、籾の品質維持・劣化防止が容易になったことから、品質の高い米を出荷できるようになった。	タンパク質は十分低下しているため、引き続き、農業改良普及センター等関係機関と連携しながら、土壌分析に基づく施肥量の調整および適時適切な土壌改良用等支援し、食味値
一関市	いわて平泉農業協同組合	果樹(りんご、なし)	秀品率の割合を3ポイント以上増加	35.7% (116,000kg/324,900kg)	-	42.7% (164,328kg/385,030kg)	43.9% (167,575kg/381,454kg)	45.1% (315,900kg/700,000kg)	87.2%	27年度秀品重量167,575kg 製品重量381,454kg	果樹(りんご、なし)	ブランド品率の割合を1ポイント以上増加	0% (0kg/324,900kg)	-	13.1% (50,261kg/385,030kg)	9.8% (37,276kg/381,454kg)	6.6% (46,400kg/700,000kg)	148.5%	27年度蜜入り保証商品(蜜入り指数2.5以上)特秀28玉～50玉 37,276kg 出荷量全体 381,454kg	高品質青果物分析装置 内部品質センサー1組、外観センサー1組一体型	69,300,000	33,000,000	0	0	36,300,000	H26.3.20	秀品率は目標未達であるが、原因である小玉化の解消に向け、高齢樹の改植を推進するとともに、栽培管理の指導強化を行い、高品質大玉果実の生産・出荷に取り組む。なお、施設の利用率が54.5%と低調なことから、生産者に対し蜜入り保証等による有利販売の実績をPRし、利用率の向上を図る。	秀品率の割合は、年々向上しているものの目標値に届かなかった。小玉解消に向けた産地計画に基づいた計画的な改植や施設の利用率の向上について、関係機関・団体と連携しながら生産者を指導していく。

都道府県平均達成率	140.2%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価を行った5地区のうち、3地区で目標達成し、2地区で目標未達成であった。 ・水稲の目標未達成の1地区は、食味値や下位等級比率に係る目標が達成出来なかったもので、引き続き、品質分析に基づく施肥、いもち病・カメムシ防除対策の徹底等高品質米生産技術の定着に向け生産者を指導していく。 ・りんごの目標未達成の1地区は、秀品率の割合の目標が達成出来なかったもので、引き続き、秀品率の向上に繋がる計画的な改植や施設の利用率の向上について、関係機関・団体と連携しながら生産者を指導していく。
-----------	--------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
- 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
- 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
- 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
- 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
- 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。